

「With コロナ時代における未来アイデア」応募用紙

○応募者

氏名・法人名・団体名	
(法人・団体の場合)	代表者名： 担当者名：
メールアドレス	
電話番号	

募集対象・応募資格適合への同意	<input checked="" type="checkbox"/> 同意します
暴力団関係者（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）に規定する暴力団をいう。）	<input checked="" type="checkbox"/> 該当しません

○応募内容

アイデアの部門を下記から1つ選んで丸（○）を記入してください。			
	未来デザイン部門	<input type="checkbox"/>	未来テクノロジー部門

アイデア名	地域における繋がりを創出する共同体験マッチングサービス
-------	-----------------------------

提案の概要（200字以内）
自治体・地域住民と共同で作っていく地域 SNS を開発します。（1）直接的な共同体験（2）サービスを受けるだけでなく皆んなで作ること の二つを重要視して開発します。また、リーン・スタートアップという方法で仮説と検証を繰り返して本当に必要とするサービスに到達することを目指します。

提案に当たっての現状・課題・背景 ※様式自由
<p>【現状】今の仕事で災害対策や子どもの貧困に関わる中で「地域の繋がり」が大事な場面を見てきました。仕事外でも東京都知事選に見られる人種差別主義者の台頭やネット上での誹謗中傷問題などの根底には「繋がり」の希薄化があると感じます。コロナの影響で人に会うことが消極的になり、より繋がり希薄化は進むと思います。</p> <p>【課題・背景】インターネットや SNS の普及は、同質・同類系のいわば必然的な繋がりを強くするものであるため、偶然性を基調とする地域の繋がりを補強しているとは言えません。既存の地域 SNS も自治体・民間企業と協力はしていますが、実際に会員として参加して見るとアクティブユーザーは少なく元気がありません。同質・同類的の繋がりを打破して、地域内での不確実・不規則な出会いに身を委ねる必要があると思います。そのツールになるのが、本サービスです。</p>

提案を実施することによる効果、提案の実現可能性や実現に当たっての課題 ※様式自由
--

本サービスでの出会いにより、想像力・情操力のある人々を養い、地域・他者に貢献する人々を輩出します。最終的には、国のシステムに依存しない強い地域を作る一助になればいいと思っています。

【実現可能性や課題】正直に申し上げますと、実現可能性は低いです。日本は市場的側面（個人店ではなくチェーン店が乱立）、建築的側面（アパートやマンションの乱立）、歴史的側面（地域に対する意識）、どこから見ても地域の共同体に不利な条件が揃っています。したがって、しっかりコミットしてくれるモデル自治体や地域住民の存在が欠かせないことが課題です。

提案の詳細 ※様式自由

現時点で考えている事業の計画書を添付します。

※「提案の概要」以下の項目は、適宜記入欄を拡幅して構いません。

※様式自由となっている項目は、別ファイル（ワード又はPDF形式）で提出していただいても構いません。ただし、本応募用紙と合わせて最大20MBまでです。